

解決事例

家族間の相続トラブル解決

—— 相続に強い弁護士法人琉球スフィア



依頼者の状況と相談の背景

依頼者情報

👤 A様（50代女性）

📍 那覇市在住

相続財産

🏠 軍用地

💰 預貯金

5人兄弟の末っ子として



長男
主導者



次男



三男



四男



A様（長女）
相続から除外される

- 父親の死亡による相続問題
男兄弟4人で遺産を分配する計画
- 長男による執拗な要求
遺産分割協議書への署名押印を強要
- 脅迫めいた言動
度重なる電話やメールでの圧力

“「来週、Aの家に行くから、その時に遺産分割協議書に署名押印するように。そうしないと許さない。」”

弁護士への対応

迅速かつ毅然とした対応

1

法定相続分の権利説明

A様にも**法定相続分を取得する権利**があることを説明



4

毅然とした対応

今後A様への直接連絡禁止、**全て弁護士を通すよう**指示



2

その場で依頼受託

A様の権利実現のため、**その場で弁護士が代理人に**



5

ハラスメントの停止

長男からA様への**連絡・訪問が一切なくなる**



3

即時対応

その場で長男に電話し、代理人就任を通知



A様の声

「他の場所にも相談に行ったけど、その場で相手方に電話してくれるところではなかった。電話しているのを聞いていて**安心**した。本当にありがとう。」

POINT: 迅速な介入で依頼者を精神的苦痛から即座に解放

🔍 法定相続分の確保に成功

成功事例



遺産分割調停の申立て

✔️ A様の法定相続分を確保

調停において、5人兄弟の法定相続分（1/5）を確保

当初の状況

相続権0%

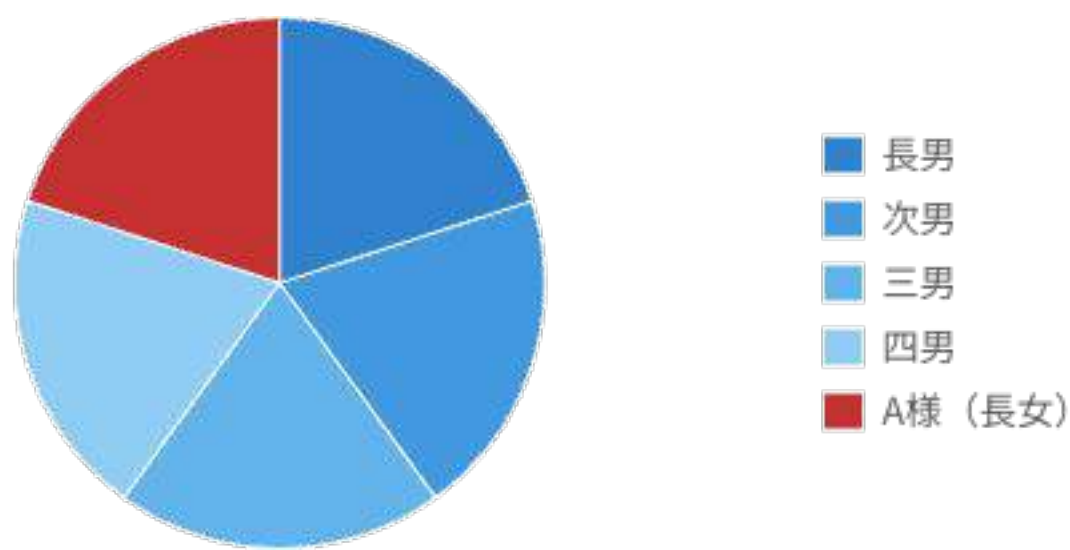
調停成立後

法定相続分獲得 (1/5)

20%



遺産分配の変化



成功のポイント

- ▶ 専門家による法的介入
- ▶ 長男からのハラスメント遮断
- ▶ 第三者による公平な判断
- ▶ 依頼者の法的権利の確保

弁護士からのコメントと相続相談のポイント



相続紛争のよくある事例

このような相談は **非常に多く** 寄せられています。法律上は法定相続分が認められるにもかかわらず、長男など他の兄弟に相続しないことを執拗に求められ、自らの希望を全く聞き入れてもらえずに困っているケースです。

⚠ よくある問題点

✖ **法定相続分の否定**
兄弟が法的権利を無視し **相続を拒む**

🚫 **孤立と心理的圧力**
執拗な要求に **精神的に追い詰められる**

🌀 **不本意な同意**
疲れ果て **不平等な条件に同意** してしまう

💡 解決のポイント

✔ **弁護士による介入**
攻撃的な連絡を **完全にブロック**

⚖️ **法的権利の実現**
法定相続分 を確保する交渉と調停

💚 **精神的負担の軽減**
専門家が対応し **安心感を提供**

📞 相続でお困りの方はぜひ当事務所へご相談ください